

厚生労働省地域雇用活性化推進事業の採択について

1 事業の概要

(1) 厚生労働省委託事業（新規事業）の内容

雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域、災害復興に取り組む地域を対象に、地域が提案する、地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るための創意工夫ある取組に対し、厚生労働省が委託するもの（提案公募型の委託事業）。

なお、委託先は自治体を含む産業界等で構成する協議会となり、事業実施においては重点産業分野を選定する必要がある。

・平成 31 年 4 月 15 日から令和元年 6 月 7 日の期間で事業提案の募集、7 月 30 日の外部の有識者を含む選抜・評価委員会での審査を経て、8 月 30 日に採択（厚生労働省HP掲載）。(※1)

(※1) 採択地域 14 地域（九州では飯塚市、延岡市、薩摩川内市）

(2) 飯塚地域雇用活性化推進事業の概要

主な事業として、製造業及び小売業の事業所の魅力向上と事業拡大をITの活用により実施するもので、近畿大学産業理工学部、近畿大学九州短期大学、九州工業大学情報工学部、飯塚商工会議所、飯塚市商工会等の地域の関係機関との連携のもと、各種講習会等を通じて魅力ある雇用を確保するとともに、それを担う人材を各種講習会で育成した上で、就職面談会による効果的な情報発信等を通じてマッチングを図る。併せて、労働力人口の減少に対応するため、Uターン希望者等の地域への誘導や大学生の地域内定着を図る。

事業運営においては、大学と企業、地域を結ぶ「つなぐカフェ@飯塚」を拠点（飯塚地域雇用創造協議会の拠点）とし、市内 7 箇所の労働関係機関との連携のもと、雇用情報の集約と一元的な公開を進める。

- ・重点産業分野 製造業、小売業、情報関連産業
- ・飯塚地域雇用創造協議会構成団体 飯塚市（産学振興課、商工観光課）、飯塚商工会議所、飯塚市商工会、（社団）嘉飯桂産業振興協議会、㈱福岡ソフトウェアセンター、NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターつなぐカフェ@飯塚運営委員会

(3) 委託費

活性化事業の実施に係る委託費は、1 地域当たり各年度 4 千万円を上限とする。

採択を受けた事業に係る事業費の 10 分の 10（全額）が委託費となる。

【年度別事業費（契約予定額）】

- ・令和元年度 20,689 千円（10 月以降の事業実施に沿った事業費を計上）
- ・令和 2 年度 35,874 千円
- ・令和 3 年度 38,800 千円

(4) 事業実施期間

事業実施期間 令和元(2019)年10月1日(火)～令和4(2022)年3月(3年間)

事業の実施期間は3年間。ただし、年度ごとに「事業継続可否の判断基準」に基づき厚生労働省が事業継続の判断を行う。

実績(※2)に乏しい場合は、廃止もしくは改善計画を提出の上、評価委員会の承認を受ける必要がある。

(※2) 実績 目標数(アウトカム指標)＝雇用者数

- ・令和元年度 24人
- ・令和2年度 47人
- ・令和3年度 56人 計127人(3年間計)

2 実施事業の内容

(1) 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

- ① 市内製造業・小売業のIT化を中心とした魅力向上に関するニーズ調査
- ② 事業所魅力創造講習会【製造業】
- ③ 商業等魅力創造講習会【小売業】
- ④ 経営力強化に関する講習会
- ⑤ 小売業等のIT化における伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開

(2) 人材育成の取組

- ① ITスキルの基本習得講習会
- ② 製造業のIT化に関するITスキル習得講習会
- ③ 経営ビジネス講習会

(3) 就職促進の取組

- ① 雇用創造拠点の設置、HPの開設
- ② ITでつながる合同会社面談会
- ③ 求人・求職者マッチング効果促進事業
- ④ UIJターン説明会、相談会
- ⑤ 大学4年生への説明会、面接会
- ⑥ 高校3年生への企業訪問事業

3 その他

(1) 事業資金の流れ

- ① 「飯塚市」から「飯塚地域雇用創造協議会」へ負担金(補助金)を支出。
- ② 事業実施後、「厚生労働省」から「飯塚地域雇用創造協議会」へ委託費交付(精算払い)。
- ③ 「飯塚地域雇用創造協議会」から「飯塚市」へ戻入(雑入)で負担金全額を返還。
・委託費の支払いは毎年度の事業終了後の精算払いが原則のため、事業開始当初に飯塚市が立て替える必要がある。(令和元年度の事業費は12月補正予算に計上予定)

以上

アジア経済交流推進事業視察ツアー（ベトナム・ミャンマー）について

本市では、中小企業者等において深刻化する労働力不足の解消、海外への販路拡大や企業進出に向けて、今年度より、「アジア経済交流推進事業」に現在取り組んでいるところです。本市におきましても、外国人技能実習生は年々増加しており、特にベトナム人技能実習生が最も増加していることから、本年4月にベトナム（ハノイ市）にある、本市へ優秀な人材を送り出してくれる技能実習生の送り出し機関を現地視察しました。更には、ベトナムは高い経済成長率（年6%～7%）での発展途上であり、販路拡大等も大いに期待できる地域であること。更には、将来を見据えて、ベトナムに次いで発展を遂げつつあるミャンマー（ヤンゴン市）にも目を向けることとし、技能実習生の受入れや販路拡大事業に取り組もうとする市内中小企業者等を対象に、ベトナム及びミャンマーを視察するもの。

記

- 1 日程：令和元年11月11日（月）～16日（土）（4泊6日）
- 2 訪問先：ベトナム（ハノイ市）及びミャンマー（ヤンゴン市）
- 3 視察目的
 - (1) 外国人技能実習生の送り出し機関における教育訓練等の視察
 - (2) 販路拡大事業及び企業進出に向けた現地政府機関及び企業等の視察
- 4 定員：10名程度（原則1社1名）※応募多数の場合は抽選を実施。
- 5 対象者：ベトナム及びミャンマーからの技能実習生受入れや、販路拡大事業に取り組むことを検討している中小企業者を優先。
※中小企業者とは、中小企業基本法の規定にもとづく中小企業者
- 6 参加費：14万円（参加費の3分の1以内において市からの補助あり。）

アジア経済交流推進事業（ベトナム・ミャンマー）訪問先候補（案）

日程	時間（現地時間）	行 動 予 定	備考
11/11 （月）	7:20~9:00	移動（市役所 ⇒ 福岡空港国際線）	
	10:30~13:30	移動（福岡空港国際線 ⇒ ハノイ空港）【VN0357便】	
	14:30~15:30	移動（ハノイ空港 ⇒ ホテル） チェックイン	
	16:00~17:00	ホテルにてミーティング	
		ハノイ泊	
11/12 （火）	8:20	ホテル出発	
	9:00~11:00	JVNET外国語教育センター 訪問	【人材派遣】：2005年（H17）に設立された技能実習生の送り出し教育機関である。
	13:00~14:00	JVNET本社 訪問	【人材派遣】：2005年に設立され、従業員が190名（その内、日本人が10名）いる。技能実習生の送り出し機関をメインとしているほか、技能実習生の帰国後の再就職支援も行っている。
	15:00~16:00	ベトナム海外労働管理局（DOLAB） 訪問	【人材派遣】：労働、雇用及び職業訓練等に関する国家行政を担当するベトナムの政府省庁である。
	17:00	ホテル着 ハノイ泊	
11/13 （水）		ホテル発	
	9:00~10:00	双日ベトナム会社ハノイ支店 訪問	【ベトナム経済・経済交流】：1986年にベトナム国内において、日本企業初の駐在員事務所をハノイに開設。長年の友好関係と経済発展への貢献が認められ、日系企業として初の「ベトナム国友好勲章」を受賞している。日系企業側からのベトナム経済の現況と今後の動向について・飯塚市との経済交流の可能性について視察
	10:30~11:30	ハノイ市内企業訪問	【経済交流】：双日ベトナム会社ハノイ支店から紹介していただき、現地の日系企業を訪問。現地での経済活動等について視察
	13:00~14:00	ハノイ人民評議会 訪問	【人材派遣・経済交流】：ハノイ市人民評議会を表敬訪問するとともに、ハノイ市の経済部局及び労働部局と今後の経済交流や人材送り出し状況等について意見交換を行う。
	14:00~17:30	ハノイ市内視察	
	18:00	ホテル着 ハノイ泊	
11/14 （木）		ホテル発【チェックアウト】	
	10:30~11:30	ハノイ市内企業訪問	【経済交流】：双日ベトナム会社ハノイ支店から紹介していただき、現地企業を訪問。現地での経済活動等について視察
	13:30~14:30	移動（ハノイ市内 ⇒ ハノイ空港）	
	16:30~18:00	移動（ハノイ空港 ⇒ ヤンゴン空港）【VN0957】	
	18:45~19:45	移動（ヤンゴン空港 ⇒ ホテルへ）	
	ヤンゴン泊		
11/15 （金）		ホテル発【チェックアウト】	
	9:00~11:00	J-SAT 訪問	【人材派遣】：1998年設立のミャンマー専門の日系企業であり、企業進出コンサルタント、技能実習生及び介護人材の派遣なども行っている。将来的な本市への人材派遣の可能性について視察
	11:00~12:00	JETROヤンゴン事務所 訪問	【経済交流】 ミャンマー経済の現況と今後の動向及び今後の飯塚市との経済交流の可能性について調査
	14:00~15:30	ヤンゴン市内視察	
	15:45~16:45	移動（ヤンゴン市内 ⇒ ヤンゴン空港）	
	18:55~21:20	移動（ヤンゴン空港 ⇒ ハノイ空港）【VN0956便】	
11/16 （土）	1:45~7:20	移動（ハノイ空港 ⇒ 福岡空港国際線）【VN0356便】	

アジア経済交流推進事業視察ツアー (ベトナム・ミャンマー)

参加される市内企業募集のお知らせ

募集期間
9月2日(月)から
17日(火)まで

- ◆ 本市へ優秀な技能実習生を送り出してくれる現地技能実習生送り出し機関の視察
- ◆ 販路拡大事業及び企業進出に向けた現地政府機関及び企業等の視察

視察ツアーの概要

本市では、中小企業者等において深刻化する労働力不足の解消に向けて、今年度より“アジア経済交流推進事業”に現在取り組んでいるところです。

本市におきましても、外国人技能実習生は年々増加しており、特にベトナム人技能実習生が最も増加していることから、本年4月にベトナム（ハノイ市）にある、本市へ優秀な人材を送り出してくれる技能実習生の送り出し機関を現地視察しました。更には、ベトナムは高い経済成長率（年6%～7%）での発展途上であり、販路拡大等も大いに期待できる地域であることがわかりました。つきましては、将来を見据えて、ベトナムに次いで発展を遂げつつあるミャンマー（ヤンゴン市）にも目を向けることとし、下記日程のとおり、技能実習生の受入れや販路拡大事業に取り組もうとする市内中小企業者等を対象に、ベトナム及びミャンマーの外国人技能実習生の送出し機関及び現地の企業等を視察することとしましたので、是非とも視察ツアーにご参加ください。

日程：11月11日(月)～16日(土)【4泊6日】

訪問先：ベトナム・ハノイ及びミャンマー・ヤンゴン

定員：10名程度(原則1社1名)

※応募者多数の場合は抽選をします。

対象者：ベトナム及びミャンマーからの技能実習

生受入れや、販路拡大事業に取り組むこ

とを検討している中小企業者を優先

※中小企業者とは、中小企業基本法の規定にもとづく中小企業者

参加費：14万円(参加費の3分の1以内において市

からの補助あり。)

参加費に含まれる経費

渡航費、宿泊費、旅行傷害保険代、現地空港税、

国内空港税、燃油料

参加費に含まれない経費

飲食費

日程	時間	視察内容(案)
11日(月)	午前	福岡空港国際線集合
	午後	移動(福岡空港国際線 ⇒ ハノイ空港)【VN0357便】 ハノイ着
12日(火)	午前	JVNET外国語教育センター訪問
	午後	JVNET本社訪問(技能実習生送り出し機関) ベトナム海外労働管理局(DOLAB)訪問
13日(水)	午前	双日ベトナム会社ハノイ支店訪問
	午後	ハノイ日系企業訪問 ハノイ人民評議会市内視察 ハノイ市内視察
14日(木)	午前	ハノイ現地企業訪問
	午後	移動(ハノイ空港 ⇒ ヤンゴン空港)【VN0957】 ヤンゴン着
15日(金)	午前	J-SAT訪問(技能実習生送り出し機関)
	午後	JETROヤンゴン事務所訪問 ヤンゴン市内視察 移動(ヤンゴン空港 ⇒ ハノイ空港)【VN0956便】
16日(土)	午前	移動(ハノイ空港 ⇒ 福岡空港国際線)【VN0356便】

※スケジュールは都合により変更となる可能性があります。

詳細な情報は本市ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

申込み・問い合わせ先

申込み方法

参加申込み書に必要事項を記載の上、下記メールアドレスに提出してください。

※参加申込み書は、ホームページに掲載しています。

○申込み・問い合わせ 国際政策課(☎内線1446) E-mail kokusai@city.iizuka.lg.jp

優勝投資賞金 約1億円のピッチコンテスト開催決定!

九州代表決定の瞬間を見逃すな



スタートアップワールドカップは、米ペガサス・テック・ベンチャーズが主催する、世界最大級のグローバルピッチコンテスト※・カンファレンスで、2017年より開催されており今回が4回目となります。
世界40地域以上で地域予選が行われ、地域予選で優勝した企業は、2020年夏にサンフランシスコで開催される世界決勝戦に招待され、世界優勝投資賞金約1億円を掛けて競います。そんな大会の予選がなんと飯塚市で開催されます。ぜひ、起業家の白熱するピッチを見にお越しください!

※ピッチコンテストとは・・・自社の事業計画や将来性を短時間で端的に述べ伝える催しであり、主にスタートアップ企業が投資家から出資を募るために行われる。複数の発表者が登壇し、その中から大賞あるいは最優秀賞を選ぶ形式で行われる。

2019.10.5(土) スタートアップワールドカップ2020 日本予選 九州大会 in 飯塚

開催時間	15:00~17:15
会場	嘉徳劇場 (福岡県飯塚市飯塚5-23)
入場料	無料(事前予約制)
入場観戦申込	2019.10.2(水)

【プログラム前半】 日本のイノベーション業界の著名人を招き、基調講演、パネルディスカッション等を行っていただきます。彼ら自身の体験談、イノベーションに関する考え方など、貴重な話を聴くことができます。

【プログラム後半】 書類選考で選ばれたファイナリスト10社が日本語でピッチを行うピッチコンテストでは、イノベーション創出のヒントを得られる、またとない機会です。

スタートアップワールドカップ九州ロードショー2020 特別ゲストスピーカー



株式会社ユーグレナ
代表取締役社長

出雲 充氏

駒場東邦中・高等学校、東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。同年12月に、世界でも初となる 微細藻類ミドリムシ(学名:ユーグレナ)の食用屋外大量培養に成功。世界経済フォーラム(ダボス会議) Young Global Leaders、第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」(2015年)受賞。著書に『僕はミドリムシで世界を教えることに決めた。』(小学館新書)がある。



日本マイクロソフト株式会社

業務執行役員
マイクロソフトテクノロジーセンター長
サイバークライムセンター
日本サテライト責任者

澤円 氏

立教大学経済学部卒業後、生命保険会社のIT系子会社に入社し、文系SEとしてキャリアをスタート。97年に日本マイクロソフトに入社し、コンサルタント、プリセールスSE、クラウドプラットフォーム営業本部本部長などを経て11年より現職、18年より業務執行役員就任。年間250回以上のプレゼンをごこなす「伝えるプロ」として知られる。



ペガサス・テック・ベンチャーズ
代表パートナー兼CEO

アニス・ウツザマン 氏

全世界で23のファンドを運営しており、大手事業会社30社とのパートナーシップによる大手企業内のイノベーション促進の実績を持つ。これまで米、日本、東南アジアにおいて150社以上のスタートアップへ投資を実施。

皆様、この機会にぜひご覧ください! ご来場お待ちしております!

入場観戦申込フォーム

<https://peatix.com/event/729447>

右記QRコードよりアクセス可能



お問い合わせ先はコチラ

入場観戦申込やイベント内容について

福岡県飯塚市役所 経済部 国際政策課(担当:今林・柴田) **0948-22-5500**(内線1446)

主催/飯塚市、ペガサステックベンチャーズ 特別協賛企業/fabbit

専用HP
QRコード



1. 枝国地内の車両損傷事故 事故現場見取図

経済建設委員会資料
令和元年9月12日提出

- 1: 事故発生日時 令和元年8月4日(日)午後9時頃
- 2: 事故発生場所 飯塚市枝国地内(市道 目尾・久保白線)
- 3: 事故の概要

相手方車両が横田方面から若菜方面に走行中、市道上に出来たポットホール(約50cm×30cm×深さ10cm)にはまり左側前後のタイヤホールを損傷させたものです。
相手方に人身傷害はありませんでした。

